

永井永涼 ながい なが 漢詩人。嘉永五年八月、尾張國生肌、大正二年一月、二百歳（一八五二—一九三二）。講匠温、字伯良・耐甫、道稱久一郎、永井久、永井温。別號來青居士、來青山人、來青散人。尾張藩儒毅津教堂の漢學を學ぶ。大學南校を経てアメリカに留學。歸國後帝國大學書誌官、文部大臣官房秘書官等歴任。明治二十年浪官として日本郵船入社、上海・横濱各支店長を務めり。漢詩は大沼枕山、森春濤の師事。妻は教堂の次女恆、長男は作家永井荷風、三男は農學者永井成三郎。

譯著書、ウヰルリヤム、ゾヨン、マツクオーレン、ランキン著 同前均
 氏汽機學 全二冊（永井久一郎名、譯、原口要訂、上册・明治十八年
 七月、下册、附圖・九月文部省編輯局）、〇西游詩續稿 全二冊（明
 治二十二年二月、無刊記）等。